

# この子らと

第7号平成29年12月

## まことの保育



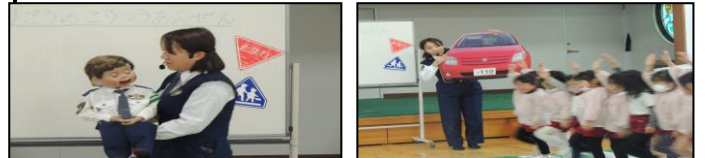
鹿児島竜谷学園和光幼稚園



園長 川口公男

## 子どもの可能性を信じて

## 交通安全教室



年末・年始等交通事故等でかけがえない命を失うことがないことを願って県警の交通安全指導員による交通安全教室を実施しました。特に年長組は来年度から小学生です。自分一人で歩いての登下校になります。「**自分の命は自分で守る**」ことが大切ですよという指導員のお話を子どもたちは真剣なまなざしで聞いている様子が印象的でした。

### 平成29年度文部科学大臣優秀教職員受賞

文部科学省から、本園宮園貴子主幹を文部科学大臣優秀教職員として表彰する旨のお知らせが届きました。全国の私立幼稚園から3名が表彰されます。鹿児島県私立幼稚園協会からの推薦です。

本園の職員がこのような全国的な表彰を受けることをうれしく思っております。表彰式は、平成30年1月15日(月)、東京大学安田講堂で行われます。

## 可能性を信じて一年の計を

「もういくつ寝るとお正月」もう少ししたら新しい年が始まります。一年の計は元旦にあり、年齢を重ねながらも「常に今」の若き精神をもって自分の歴史づくりの新たなスタートの日、お正月を迎えたいものです。

「明日ありと思ふ心のあだ桜、夜半に嵐の吹かぬものかは」親鸞聖人様の幼き頃のお言葉です。

今、満開の桜の花も、明日になれば嵐がきて一瞬にして散らしてしまうかもしれないのが人の世でもあります。

ほとんどの人は、ある程度年齢を重ねると新しいことに挑戦することをためらうようになります。子どもたちはもちろんわたしたち大人も「可能性」はまだまだたくさんもっています。チャンスは今の杵持ちをもって一年の計を!!!

子どもたちは、わからなかったことがわかるようになったり、できなかったことができるようになったりなどする可能性を限りなく持って生まれてきています。教育とは、子どもたち一人一人の可能性を引き出す営みであり、子どもの姿としてそのことが現れたとき、最大の喜びとなります。教師の仕事について良かったとしみじみと感じる瞬間となります。子どもたちとともに練習を重ねての発表会、どの子どもも練習の成果を思う存分発揮してくれました。一生懸命の子どもたちの演技は、保護者のみなさまや職員を感動の渦にまきこんでしまいました。子どもたちに乾杯です心の琴線を振るわせてくれた子どもたちでした。

--	--